

# 1年道徳通信

第28号

## 第28回『裏庭での出来事』



第28回目の道徳では、学校の物置のガラスを割ってしまったことを正直に報告することができなかった健の物語を通して、自分の行動に責任をもつことについて考えました。昼休み、狭い「裏庭」でサッカーをしようとした健、大輔、雄一。鳥の巣を猫が狙っているのに気づいてボールを投げ、物置の窓ガラスを割ってしまいます。雄一が先生を呼びに行きますが、その間に健と大輔はボールを蹴り、健がもう1枚ガラスを割ります。先生が来て、雄一が報告しますが、結果的に雄一が窓を割った謝罪に健と大輔が便乗した形になってしまいます。気にしないと言う大輔と、気が重い健。翌日まで悩んだ健は、本当のことを報告しようとして雄一と大輔に宣言し、職員室に向かいます。健の後ろ姿を見つめていた大輔も、その後を追いかけてきました。

### みんなの意見

自分の行動に責任を持つとは、どういうことだろう。

- 自分がしてしまったことを自覚して、それを曖昧にしようとしたり、ごまかしたりしないようにすること。
- 隠したり言い訳をせずに、自分のしてしまったことを素直に言うこと。
- 人に頼らずに、自分で物事を解決させるということ。
- 自分でしたことは人に頼るのではなく、自分で解決して人に迷惑をかけていないかも考えること。
- 自分がしたことによって、他の人にどのような影響が出るのかを考えて行動すること。
- 自分の行動が正しかったのかを考えて行動すること。

**自分の行動に責任を持つことが**

**大人への第一歩ではないでしょうか？**